

NEWS LETTER

14時30分解禁

平成25年5月 全国百貨店売上高概況

平成25年6月19日

I. 概況

1. 売上高総額	4,847億円余
2. 前年同月比	2.6% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	85社 243店 (平成25年4月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,233,755㎡ (前年同月比:-0.9%)
5. 総従業員数	82,188人 (前年同月比:-3.7%)
6. 3か月移動平均値	10-12月 -0.5%、11-1月 0.2%、12-2月 -0.4%、 1-3月 1.5%、2-4月 1.3%、3-5月 2.1%

[参考] 平成24年5月の売上高増減率は-1.0% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

2か月ぶりのプラスとなり、増加率も2.6%と3月(3.9%)に次ぐ高い水準で推移した。

今年5月は、低気温だった上旬までは衣料品の動きが鈍かったものの、中旬以降の気温上昇に伴い、クールビズを含む主力の初夏物ファッション商材(衣料品:+1.6%)が勢いを取り戻したほか、年初から高い伸びを示している宝飾品・高級時計(美・宝・貴:+23.3%)やラグジュアリーブランド(身のまわり品:+4.4%)など高額品も引き続き好調であった。また、好天に恵まれたGWには各店の催事企画が好評でファミリー客を中心に賑わいを見せたほか、母の日商戦のギフト需要も活況であったことなどから、増勢気運を回復することができた。

その他当月の特徴的な動向としては、増床・改装効果のある東京や大阪など大都市(10都市:+4.3%)が5か月連続で前年をクリアしたこと、住宅需要の活況を背景に家具(+4.6%)が4か月連続でプラスしていること、訪日外国人はタイなど東南アジアの急伸と円安効果によって、拡大基調(売上:+122.7%/客数:+85.7%)が続いており、前月に次いで過去二番目となる売上高(約33億2千万円/全国44店免税売上ベース)を記録したこと、などが報告されている。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「5月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 上旬は強い寒気が流れ込んだため、全国的に気温がかなり低くなった。中旬以降持ち直し、下旬には南から暖かい空気が流れ込み気温はかなり高くなった。また、東・西日本では高気圧に覆われ晴れた日が多かった。

(2) 営業日数増減 30.9日(前年同月比+0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日(〃 ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数134店舗)

①増加した:41店、②変化なし:29店、③減少した:64店

(5) 5月歳時記(GW、子供の日、母の日)の売上(同上/有効回答数115店舗)

①増加した:26店、②変化なし:59店、③減少した:30店

(6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値/有効回答数168店舗)

①増加する:38店、②変化なし:77店、③減少する:15店、④不明:38店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2013年05月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	484,793,939	100.0	2.6 (2.4)
10都市	323,570,682	66.7	4.3
札幌	11,959,030	2.5	1.9
仙台	6,657,138	1.4	1.5
東京	124,096,609	25.6	5.1
横浜	28,910,110	6.0	3.7
名古屋	30,139,766	6.2	9.9
京都	18,973,629	3.9	2.3
大阪	64,939,527	13.4	5.7
神戸	12,232,675	2.5	-5.0
広島	10,322,283	2.1	-2.8
福岡	15,339,915	3.2	2.0
10都市以外の地区	161,223,257	33.3	-0.7 (-1.2)
北海道	2,526,678	0.5	-1.6
東北	7,965,786	1.6	-3.8
関東	77,692,099	16.0	-0.5 (-1.1)
中部	12,195,465	2.5	-2.5
近畿	15,990,065	3.3	-0.1
中国	11,111,734	2.3	0.9 (-2.2)
四国	8,522,775	1.8	0.5
九州	25,218,655	5.2	-0.9

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	484,793,939	100.0	2.6 (2.4)
紳士服・洋品	36,227,873	7.5	2.5 (2.3)
婦人服・洋品	111,657,546	23.0	2.0 (1.8)
子供服・洋品	12,921,088	2.7	-1.6 (-1.8)
その他衣料品	11,769,703	2.4	-0.2 (-0.3)
衣 料 品	172,576,210	35.6	1.6 (1.5)
身のまわり品	64,719,556	13.3	4.4 (4.2)
化粧品	27,982,779	5.8	2.3 (2.0)
美術・宝飾・貴金属	27,073,868	5.6	23.3 (22.8)
その他雑貨	18,364,939	3.8	-0.8 (-0.9)
雑 貨	73,421,586	15.1	8.2 (8.0)
家 具	6,410,822	1.3	4.6 (4.5)
家 電	1,550,337	0.3	-13.8 (-13.8)
その他家庭用品	16,664,024	3.4	-0.2 (-0.4)
家 庭 用 品	24,625,183	5.1	0.0 (-0.2)
生 鮮 食 品	26,009,335	5.4	-0.6 (-0.8)
菓 子	30,625,318	6.3	1.6 (1.4)
惣 菜	27,598,536	5.7	1.1 (1.0)
その他食料品	34,515,524	7.1	-0.3 (-0.7)
食 料 品	118,748,713	24.5	0.4 (0.2)
食 堂 喫 茶	14,981,111	3.1	4.9 (4.9)
サ ー ビ ス	5,529,185	1.1	0.0 (0.0)
そ の 他	10,192,395	2.1	-0.7 (-0.7)
商 品 券	12,752,954	2.6	-7.0 (-7.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 4.3% (5か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -0.7% (店舗数調整後 / 2か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	4.3	2.8	5か月連続プラス
札幌	1.9	0.0	2か月ぶりプラス
仙台	1.5	0.0	2か月ぶりプラス
東京	5.1	1.3	5か月連続プラス
横浜	3.7	0.2	3か月連続プラス
名古屋	9.9	0.6	7か月連続プラス
京都	2.3	0.1	2か月ぶりプラス
大阪	5.7	0.7	7か月連続プラス
神戸	-5.0	-0.1	2か月連続マイナス
広島	-2.8	-0.1	4か月連続マイナス
福岡	2.0	0.1	2か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-0.7	-0.2	2か月連続マイナス
北海道	-1.6	0.0	14か月連続マイナス*
東北	-3.8	-0.1	2か月連続マイナス*
関東	-0.5	-0.1	2か月連続マイナス
中部	-2.5	-0.1	2か月連続マイナス
近畿	-0.1	0.0	2か月連続マイナス
中国	0.9	0.0	2か月ぶりプラス*
四国	0.5	0.0	2か月ぶりプラス
九州	-0.9	0.0	6か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と雑貨が7か月連続、衣料品と食料品が2か月ぶり、家庭用品が3か月ぶりのプラスと14か月ぶりに全品目がプラスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が9か月連続、菓子が5か月連続、家具が4か月連続、化粧品が3か月連続のプラス、紳士服・洋品、婦人服・洋品、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.6	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	2.5	0.2	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	2.0	0.5	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	－1.6	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	－0.2	0.0	6か月連続マイナス
衣料品	1.6	0.6	2か月ぶりプラス
身のまわり品	4.4	0.6	7か月連続プラス
化粧品	2.3	0.1	3か月連続プラス＊
美術・宝飾・貴金属	23.3	1.1	9か月連続プラス＊
その他雑貨	－0.8	0.0	2か月連続マイナス＊
雑貨	8.2	1.2	7か月連続プラス
家具	4.6	0.1	4か月連続プラス
家電	－13.8	－0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	－0.2	0.0	6か月連続マイナス
家庭用品	＋0.0	0.0	3か月ぶりプラス
生鮮食品	－0.6	0.0	14か月連続マイナス＊
菓子	1.6	0.1	5か月連続プラス＊
惣菜	1.1	0.1	2か月ぶりプラス＊
その他食料品	－0.3	0.0	4か月連続マイナス＊
食料品	0.4	0.1	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	4.9	0.1	7か月連続プラス
サービス	＋0.0	0.0	2か月ぶりプラス
その他	－0.7	0.0	5か月連続マイナス
商品券	－7.0	－0.2	27か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成25年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年6月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,240億円余
2. 前年同月比	5.1% (5か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭 の増減	店頭4.9%(88.7%) : 非店頭6.5%(11.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成25年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	898,885㎡ (前年同月比:-1.4%)
6. 総従業員数	19,405人 (前年同月比:0.9%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 0.1%、11-1月 0.7%、12-2月 0.3%、 1-3月 3.2%、2-4月 3.8%、3-5月 4.6%

[参考] 平成24年5月の売上高増減率は2.1% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

- (1) 東京地区では、主力の衣料品 (売上構成比34.5%) が6.9%増と大きな伸びを見せ、ファッション主導で商況全般を牽引した。具体的には、カジュアル衣料を中心に紳士ではジャケット、パンツ、婦人もジャケット、パンツに加え、ワンピースなどの動きが良かった。
- (2) 高額品は、美術・宝飾・貴金属が5か月連続で二桁増 (1月:11.4%、2月:10.9%、3月:20.0%、4月:33.0%、5月:24.1%) となり引き続き活況であった。特に宝飾・時計は、50万円～100万円の価格帯を中心に依然底堅く動いており、100万円を超える高額帯にも動きが見られた。なお、最近の株価乱高下による影響は今のところ報告されていない。
- (3) 今年5月は晴天が続いたため、UV対策商材が好調で、サングラス、帽子、日傘、ネックウェア、UV化粧品などの売上が大きく伸びた。
- (4) 母の日商戦は、最近の傾向である直近需要で盛り上り、扇子、財布、晴雨兼用傘、スカーフ、生花、洋菓子などに人気が集まった。
- (5) 6月中旬までの都内の商況は、概ね3～4%増で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数20店舗)
 - ①増加した: 10店、②変化なし: 4店、③減少した: 6店
- (3) 5月歳時記 (GW、子供の日、母の日) の売上 (同上/有効回答数17店舗)
 - ①増加した: 7店、②変化なし: 7店、③減少した: 3店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
 - ①増加する: 10店、②変化なし: 9店、③減少する: 1店、④不明: 0店

NEWS LETTER

東京地区百貨店 売上高速報 2013年05月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	124,096,609	100.0	5.1
紳士服・洋品	11,796,039	9.5	7.8
婦人服・洋品	26,265,691	21.2	8.2
子供服・洋品	2,533,789	2.0	-6.4
その他衣料品	2,230,580	1.8	3.2
衣 料 品	42,826,099	34.5	6.9
身のまわり品	17,959,688	14.5	7.2
化粧品	7,055,546	5.7	4.3
美術・宝飾・貴金属	7,810,724	6.3	24.1
その他雑貨	5,620,531	4.5	-2.0
雑 貨	20,486,801	16.5	9.0
家 具	2,009,557	1.6	4.6
家 電	911,346	0.7	-15.5
その他家庭用品	4,487,260	3.6	3.9
家 庭 用 品	7,408,163	6.0	1.2
生 鮮 食 品	4,672,596	3.8	0.9
菓 子	7,285,948	5.9	-1.1
惣 菜	6,274,502	5.1	0.4
その他食料品	8,208,686	6.6	0.0
食 料 品	26,441,732	21.3	-0.1
食 堂 喫 茶	3,233,074	2.6	5.7
サ ー ビ ス	2,321,622	1.9	-0.1
そ の 他	3,419,430	2.8	3.0

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	2,793,188 千円	-14.1
従 業 員 数	19,405 人	0.9
店 舗 面 積	898,885 m ²	-1.4

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が7か月連続、衣料品が4か月連続、雑貨が3か月連続、家庭用品が2か月連続のプラス。食料品が2か月連続のマイナスとなった。また化粧品が10か月連続、美術・宝飾・貴金属が5か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、家具が4か月連続、その他衣料品が2か月連続のプラス、惣菜、その他食料品が2か月ぶり、生鮮食品が4か月ぶり、その他家庭用品が13か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	5.1	—	5か月連続プラス
紳士服・洋品	7.8	0.7	4か月連続プラス
婦人服・洋品	8.2	1.7	4か月連続プラス
子供服・洋品	－6.4	－0.1	6か月連続マイナス
その他衣料品	3.2	0.1	2か月連続プラス
衣料品	6.9	2.3	4か月連続プラス
身のまわり品	7.2	1.0	7か月連続プラス
化粧品	4.3	0.2	10か月連続プラス＊
美術・宝飾・貴金属	24.1	1.3	5か月連続プラス＊
その他雑貨	－2.0	－0.1	13か月連続マイナス＊
雑貨	9.0	1.4	3か月連続プラス
家具	4.6	0.1	4か月連続プラス
家電	－15.5	－0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	3.9	0.1	13か月ぶりプラス
家庭用品	1.2	0.1	2か月連続プラス
生鮮食品	0.9	0.0	4か月ぶりプラス＊
菓子	－1.1	－0.1	2か月連続マイナス＊
惣菜	0.4	0.0	2か月ぶりプラス＊
その他食料品	＋0.0	0.0	2か月ぶりプラス＊
食料品	－0.1	0.0	2か月連続マイナス
食堂喫茶	5.7	0.1	7か月連続プラス
サービス	－0.1	0.0	2か月連続マイナス
その他	3.0	0.1	2か月ぶりプラス
商品券	－14.1	－0.4	25か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>